## Colony Tokyo コロニーとうきょう

社会福祉 東京コロニー法 人

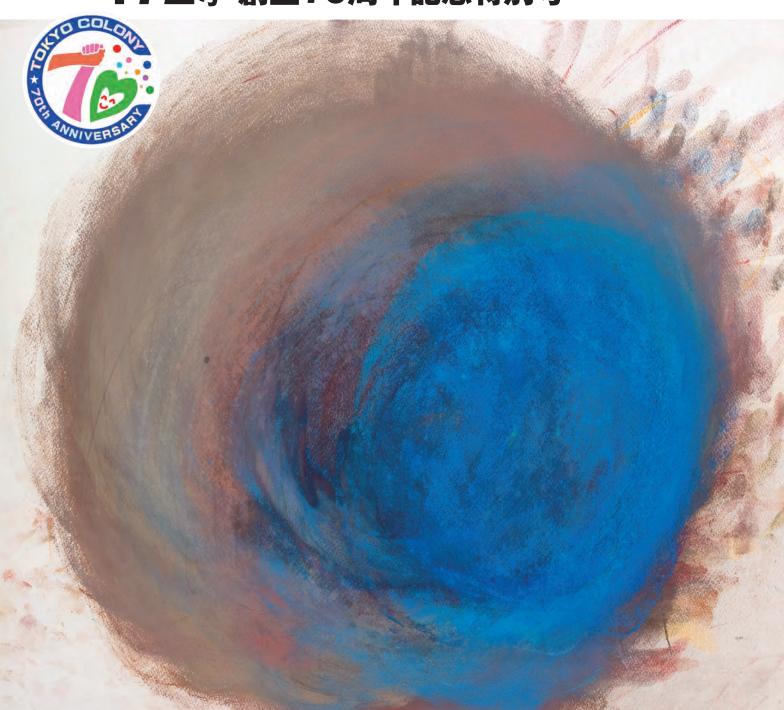
〒 165-0023

東京都中野区江原町 2-6-7 TEL03-3952-6166 FAX03-3952-6664

https://www.tocolo.or.jp/ (法人本部 事務局)

2022(令和4)年1月1日発行

## Vol. 172号 創立70周年記念特別号



徳岡麻実子さん 『2020.8.30 1/2』 (詳しくは29頁をご覧下さい。)

法人本部・コロニー中野・トーコロ生活支援センター・アートビリティ(〒165-0023 中野区江原町2-6-7)・中野区仲町就労支援事業所(〒164-0011 中野区中央3-19-1)・コロニーもみじやま支援センター(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・トーコロ情報処理センター 事業部・職能開発室・デジタルメディアセンター(〒170-0005 豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル6F)・東京都葛飾福祉工場(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・立石工場(〒124-0012 葛飾区立石8-50-1)・コロニー東村山(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・東村山市障害者就労支援室(〒189-0014 東村山市本町1-1-1)・東京都大田福祉工場(〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロあおば就労サポートセンター(〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)・国分寺戸倉寮(〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮(〒203-0004 東久留米市が川台2-31-22)・東久留米第三氷川台寮(〒203-0002 東久留米市神宝町2-14-26)・えはらハイツ I、I、II・中野江原短期入所・中野区日中一時支援(〒165-0023 中野区江原町3-23-2)・とよたまハイム(〒176-0014 練馬区豊玉南2-3-9)・こあらハイツ(〒202-0013 西東京市中町3-10-9)・あおばハウス I、II(〒189-0002 東村山市青葉町3-2-2)

はじめに

事業を実施することができました。

節目節目に感謝の集い等の周年記念

後は、厳しい状況を抱えながらも、

ろではありませんでした。しかしそ

極めて不安定であり、

記念事業どこ

ことに、改めて感謝申し上げます。 地域の皆様に支えていただきました

創立当時から10年間の経営事情は

の事業の始まりでありました。

全国的にコロニー運動が始まったの

その翌年のこと、そこが、東京コロニー 中野の地に移転して作業を始めたのは 易ではありません。結局、今のコロニー 回復者といっても地域住民の理解は容 で、不治の病といわれていましたので、

成果は、1967年に呼吸器機能障

20年間、自力で事業を続けてきたと

営努力のエネルギーは、創設期後 実現しました。血のにじむような経 生活できる給与を払い続けることを 分とは言えませんが、事業によって

特徴があります。その運動の最初の らの手で切り拓いてきたという点に

害を身体障害者福祉法に含める改正 害、心臓機能障害、いわゆる内部障

を実現したことでした。

尽が、背景にあったと思われます。 が法的制度の外におかれていた理 いう体験と蓄積、また、呼吸器障害

社会福祉法人の認可を受けてから

拡大路線から経営危機へ

産施設と低額宿舎の開設をもって社会

当法人は、1968年に社会事業授

周年を迎えることができました。 に事業を開始して、お陰様で今年70

当法人は、1951 (昭和26)

年

均年収が15万円程度の時代でありま を始めました。全国の給与所得者の平 に運び、その廃車で結核回復者が生活

ていくという道を辿りました。

コロニー運動は、自らの生活を自

印刷を営んで、徐々に仲間を受け入れ 養鶏や、資本金が少なくてすむガリ版 関係者の様々な支援を受けて、

養豚

で、法を根拠にした組織作りに努力 会福祉法人の法定事業への転換時期 を開設するなど、無認可事業から社

した期間でありました。

結核回復者らが始めた事業は、

充

— 2 —

としました。そのような環境を背景に、

長期間滞在するようなものは認めない しか設置を認めず、コロニーのように

)た。結核は当時、死亡原因の第1位

これまで、多くの企業や支援団体、

震災の発生等から、自粛した内容で 60周年については、3月の東日本大

日頃お世話になっている皆 日常活動の中で感謝の意を

帰る家も仕事もない人々に対する一定 乱が続いている中、体力に自信がなく、 ようになりました。しかし、戦後の混 放され、社会に戻ることが認められる はじめた時期であり、不治の病から解 抗結核薬が開発され、日本でも使われ す。米国でストレプトマイシンなどの は戦後間もない1949年頃からで

害者が利用しても運営費補助制度は

産施設は生活困窮者対策であり、 てからになります。当時の社会事業授 授産施設(コロニー印刷所)を開設し ら3年後の1971年で、身体障害者 的補助が入るようになるのは、それか 福祉法人となりましたが、運営費に公

膧

併による事業開始、印刷事業や防災 受託、三多摩地域では仲間の法人合 者自立ホームとふたつの福祉工場の いきました。東京都から肢体不自 は、凄まじい勢いで事業を拡充して

情報処理事業といった在宅就

事

様には、

## 70年の歩みと これから

理事長

ていただき、大宮の車庫から5万円を

なくなった客車一輌を無料で払い下げ

1950(昭和25)年、国鉄で使わ

度化をしたものの、

年に1カ所程度

足の地である中野区内に二つの施設

着に全力を傾注した期間であり、

最初は生きるために事業の維持と定

当法人の活動を事業で振り返ると、

本格的な事業への取組み

の10年は制度面で国に働きかけ、

発 次

ては、生活保護法の更生施設として制

国は当時、アフターケア施設につい

める運動につながっていきました。 りません。当事者たちの人間回復を求

かけて国立中野療養所の近くの借地

中村

なげたいと思います。

ホームページで感謝の気持ちを伝え して、式典などのイベントは自粛し、

この度も、長引くコロナ禍に配慮

表させていただきました。

敏彦

る動画を配信させていただいていま

就労の場を国が用意できるわけはあ

うアフターケア施設と、重い後遺障害 期間のリハビリや、職業訓練などを行

を残した低肺機能者のための生活と

で事業を続けざるを得ませんでした。 足して20年余りは公的補助のない状況 使えなかったのです。したがって、

す。本誌では70年を振返り、

)引き たる しょっぱい 見の重 手代でもありました。

30周年を越えてからは、他の障害者も一定割合で受け入れることを可り入れ、それまでの身体障害のあるり入れ、それまでの身体障害のあるにも広げ、養護(現・特別支援)学にも広げ、養護(現・特別支援)学校卒業後の本格的な受け入れも開始校卒業後の本格的な受け入れも開始でました。さらに、職住分離の考えたがら入所施設の完全通所化を実現させた時期でもありました。

影響を受けることになりました。拡大を続けてきた当法人は、深刻な済の崩壊に襲われます。急激な事業気後退が始まり、いわゆるバブル経

## 危機を乗り越えて

替え、中野区から受託していた施設の 場の法人立への民間移譲、 援法)施行です。ふたつの都立福祉工 害者自立支援法(現在の障害者総合支 り越えてきました。次の転換期は、障 ではいえない状況でしたが、何とか乗 変更にも先進的に取り組み、 域生活支援のための事業を開始しまし む経営改善に努力し、事業拠点が所在 た。また、国や東京都などの制度等の する基礎自治体等からの事業受託や地 や施設体系・運営方式の見直し等を含 そのような社会環境の中、 移譲後の建 安定とま 印刷事業

経営へと舵を切ることとしました。のは替えなど、施設整備の大きな事業の建替えなど、施設整備の大きな事業が充実してきたことを背景に、拡大路が充実してきたことを背景に、拡大路が充実してきたことを背景に、拡大路が 利建替え、老朽化したコロニー中野

2014年、国際人権法に基づく 2014年、国際人権法に基づく に存在する障壁が障害であると いう社会に存在する障壁が障害であると いう社会モデルへと、障害の概念を 大きく変化させることになりました。 大きく変化させることになりました。 されは、障害のある人も他の者との 平等を基礎として、住むところや働きたいところを自身で決めて、社会 で活躍し、自立した生活が送れる社会環境づくりを、国の責任において 会環境づくりを、国の責任において 会別組まれることになります。

## 現在とこれから

当法人は現在、東京都内23ヵ所に当法人は現在、東京都内23ヵ所に現在の総数では895名(内、障害現在の総数では895名(内、障害現在の総数では895名(内、障害のる人1,714名を加えると2.のの人たちに責任を負う組織になっています。

などの物品販売、縫製事業など多岐職業斡旋・職業教育訓練、防災用品メールサービス、情報処理関連事業、就労支援事業は、印刷関連事業、

向き合う大切な理念だと受け止めて ますます深刻となり、障害者権利条 さらには、超高齢化社会や少子化は 性の真価が問われることになります。 の各種諸制度変更への対応と、民間 体との競争や、社会福祉法人として 業への規制緩和に伴う多様な事業主 の向上が問われ、第2種社会福祉事 との見直しでは、 います。障害者総合支援法の3年ご 視点を大切にして取り組んでいます。 課後等デイサービスなど多角的に行 ムや障害児の成長過程を支援する放 山場を迎えると判断しています。 への動きを含め、この数年は大きな 約などの国際基準における脱施設化 い、多様化するニーズには当事者の に亘り、暮らしの場ではグループホー この基本的な姿勢は人権尊重であ 障害福祉諸制度における課題に その度に支援の質

振り返れば、東京コロニーは多くの人に支えられていることを実感してい は、環境が整えば障害者も労働力とし て充分に働けることを実践し、ICT などを活用して、重度障害者の職業開 などを活用して、重度障害者の職業開 などを活用して、重度障害者の職業開 などを活用して、重度障害者の職業開 などを活用して、重度障害者の職業開 などを活用して、重度障害者の職業開 などを活用して、重度でましたり、オ イルショックの最中に身体・知的・精 イルショックの最中に身体・知的・精 を置に借金をしながら経営を維持す 経営に借金をしながら経営を維持す るなど、一時期はいつ倒産してもお

つが国は、也或住己でもにありませた。力によって事業継続してきました。や当事者たちの並々ならぬ工夫と努くの皆様のご理解とご協力、従業員かしくない状況もありましたが、多

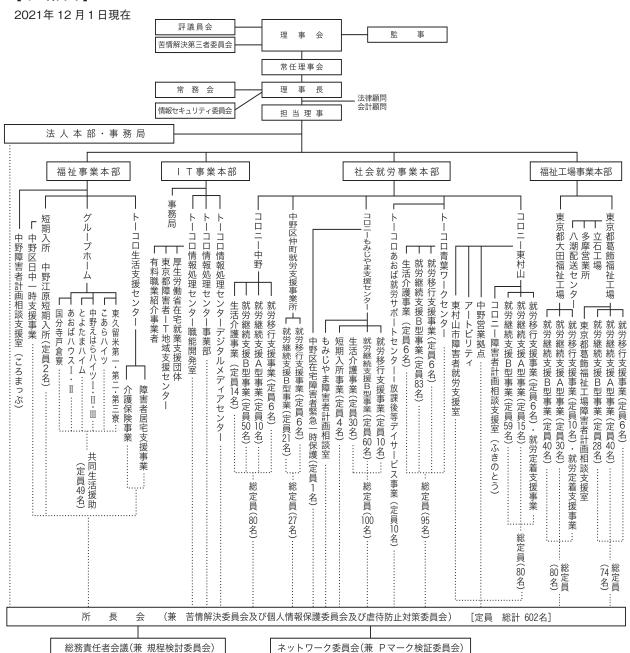
のあり方や人材育成などに、真摯に 多様な利用者ニーズへの適切な支援 論をどう受け止めていくか。そして、 界的なワークショップ批判、見直 施策と福祉施策の狭間の矛盾や、世 の開拓が必須となるでしょう。労働 いては、新たな分野で就労支援事業 要性にこだわりを持っています。つ か、これが、これからの最大の課題です。 シブな社会を目指すこの時代にふさわ ニーズの変化も想定しつつ、インクルー たちの事業を必要としている人々の 点を当てた施策に変化しています。私 経営環境はますます厳しくなることが 景にした全世代型社会保障改革の中、 社会を目指しています。公費抑制を背 しい法人へと、どのように転換していく 予測されます。障害者福祉も人権に視 当法人は、働くことの価値観や重 わが国は、地域住民で支えあう共生

んでいきたいと思います。私たちはこの思いで、これからも歩ではありますが、おかげさまで70年、ではありますが、おかげさまで70年、でと覚には、まだまだ険しい道のり

向き合わなければなりません。

ぞよろしくお願い申し上げます。これからも、ご指導のほど、どう

#### 【組織図】



#### 感謝をこめて 役員等一同

評議員	朝日	雅也	県立大学教授	理事	中村	敏彦	理事長
評議員	國兼	康男	大手商社CSR部門	理事	鬼頭	克介	常務理事・事業本部長・所長
評議員	佐野	竜平	私立大学准教授	理事	加藤	留美子	事業本部長・所長
評議員	髙橋	毅	社会福祉法人常務理事	理事	今西	康二	事業本部長・所長
評議員	外川	勝久	元 設計コンサルタント会社理事	理事	吉村	謙次	副所長
評議員	冨澤	みち子	元 当法人事業所総務部長	理事	湯浅	克己	事業副本部長•所長
評議員	橋本	弘	社会福祉法人理事長	理事	星系	2	事務局長
評議員	松村	正一	公認会計士・税理士	監事	山根	伸右	弁護士
評議員	湯田	正樹	NPO法人 副理事長	監事	神野	敏夫	元 当法人事務局長
(50音順)	)			監事	富所	淳	公認会計士・税理士
				(就任順	頁)		

## に寄せて東京コロニー開設70周年



事務所 弁護士 山根伸右法律

70年前という時代に思いを馳せると、敗戦からわずか6年、誰もが貧しく飢えていたが、貧しいという自しく飢えていたが、貧しいという自めに、未来に向かって情熱を傾けエめに、未来に向かって情熱を傾けエめに、未来に向かって情熱を傾けエめに、未来に向かって情熱を傾けエル、そう思うだけで自分の生きてきれ、そう思うだけで自分の生きできれ、そう思うだけで自分の生きできれ、そう思うだけで自分の生きできれ、そう思うだけで自分の生きできれ、そう思うだけで自分の生きできれ、

出し、東京コロニーという枠組でいた場の所長となった頃からであるが、工場の所長となった頃からであるが、工場の所長となった頃からであるが、工場の所長となった頃からであるが、工場の所長となった頃からであるが、

クする。

ずることが困難となった。 ワクワクするようなエネルギーを感 対する話を聞いたときの、あの心が や調さんらを通して見える障害者に 認識しうる、そして私が東京コロニー コロニー設立当初の、想像をもって るためかも知れないが、そして、確 助金のもとに運営するという、法律 それが障害者施設ごとの国などの補 うと実に巨大化している。 に関わることになった当初の丸山君 た活動をしているのだろうが、東京 れぞれその目的に向けて、目的に適っ かにそれは障害者の施設として、そ に縛られた状況のもとに活動してい たことからかも知れないが、また、 の報告に接するようになって認識し 私が監事として施設ごとの収支など しかし、誤解を恐れずに述べると、

## そして、期待すること祝!東京コロニー70周年。



埼玉県立大学朝日雅也評議員

障害者施策が大きく前進しようと でる1981年の国際障害者年。大 する1981年の国際障害者雇用分野に 対 設立されて30年にあたるその年、が 設立されて30年にあたるその年、 
元理事長の調一興さんと出会います。 
さらに40年が経過した今もなお東京 
コロニーに関わりを持っているご縁 
と責任を実感しています。

を対象が変化しても、東京コロニーや対象が変化しても、東京コロニー神障害へと枠組みや対象が変化して神障害へと枠組みや対象が変化して神に、と、権利を保障する動きも高まっ行など、権利を保障する動きも高まっています。その中で、変わらないのでいます。その中で、変わらないのでいます。その中で、変わらないのに、動くこと」の重要性。結核回復は「働くこと」の重要性。結核回復は「働くこと」の重要性。結核回復者の働く機会の創出を始点に、制度が変化しても、東京コロニーを対象が変化している。

しを豊かにすること」を一貫して追いを豊かにすること」を一貫して追な働き方の創出や生活支援、相談支な働き方の創出や生活支援、相談支な働き方の創出や生活支援、相談支で働くことの支援に繋げられています。一人ひとりへの支援を通じて生活を盤の確保、社会や仲間との連帯、活基盤の確保、社会や仲間との連帯、活基盤の確保、社会や仲間との意義を求し続けていることが70年の原動力なのでしょう。

さらに法人内のみならず、日本全体の障害者施策、特に働くことにつ体の障害者施策、特に働くことについての政策推進のリーダーシップを担っていることも特色です。さらに担っていることも特色です。さらにる人間的な仕事)の実現にも連なっる人間的な仕事)の実現にも連なっる人間的な仕事)の実現にも連なっています。

70年の記念動画も拝見しました。70年の記念動画も拝見しました。かしことなく、誇張することもなく、 はかしこの間の歴史と今後の東京コ はに伝えてくれます。この歩みに評 でに伝えてくれます。この歩みに評 でいただいているとともに次の10年 でいます。



● 1971(昭和 46)年 4 月 身体障害者授産施設への就労はじま る (電話交換)、当時としては、最も 普及型の外線 10 本と内線 50 本の電 話交換機で電々公社が設計製作した わが国では視覚障害者も使える第1 号の中継機であった



● 1952(昭和 27)年 11 月 汽車の家 (現在のコロニー中野所在地)



● 1965(昭和 40)年夏 日本コロニーセンターの事務所 「日本」の名称には日本のコロニー運動 の中心としての意気込みがこめられていた 1964年10月 1952年12月

財団法人認可 日本リハビリテーション協会

清瀬町下清戸の土地購入

日本リハビリテー

ション協会

1974年 (昭和49年)

コロニー東村山印刷所開設

1972年 (昭和47年)

東京都葛飾福祉工場、東京都より経営受託

果村山作業所発足(1983年、

閉鎖)

日本リハビリテーション協会

東京コロニーと合併

1971年 (昭和46年)

「ロニー印刷所開設

1968年 (昭和43年)

東

京

 $\Box$ 

ı

コロニー授産所(現・コロニー中野) 社会福祉法人東京コロニー認可

開設

1965年 (昭和40年)

社団法人日本コロニーセンター設立 中親コロニー協会、 東京コロニーと合併

日 本

 $\Box$ 

ı

セ

ン

夕 ı

1960年 1959年 (昭和35年) (昭和34年) 東

京

ı 協

会

中野区上高田に東京コロニー協会設立

東京コロニー協会

社団法人認可

(法人の基点とする)

● 1968(昭和 43)年3月 日本コロニーセンターの建物新築落成式



● 1959 (昭和34) 年7月 中野区上高田のアパートの土間にて 3名の仲間と、5坪の作業所で「コロニー印刷」がスタート 1963年 1952年 1951年10月

国鉄廃車を設置、

居住・作業所とする

1951年

現コロニー

中野敷地借用(2000年より法

3名入居、

アフターケアー中親寮発足

1950年 1941年

(国鉄廃車・汽車の家)

設置

私有地(借地)に寄宿

中 親 Τ 協 会

国立中野療養所の結核回復者

|師によって中親会設立

中親コロニー協会

社団法人認可



● 1990(平成 2)年 12 月 トーコロ青葉ワークセンター開所式



● 1983(昭和 58)年 4 月 身体障害者通所授産施設東村山作業所開所式



● 1982 (昭和 57) 年 4 月 トーコロオフコン処理事業部開所式でデモ プログラムを操作する鈴木都知事 (当時)



● 1973(昭和 48)年 5 月 美濃部都知事(当時)に消火バケツの説明 をする葛飾福祉工場の丸山所長(当時)

2000年	1999年	1997年 (平成9年)	1995年 (平成7年)	1990年 (平成2年)	1986年 (昭和61年)	1985年 (昭和60年)	1984年 (昭和59年)	1983年 (昭和58年)	1982年 (昭和57年)	1975年 (昭和50年)
トーコロ情報処理センター職能開発室)トーコロ情報処理センター事業部、「デジタルメディアセンター、日本部開設」	デジタルメディアセンター開設	生活寮「国分寺戸倉寮」開設	(2007年、2012年廃止)第三ワークセンター開設トーコロ青葉第二ワークセンター、	トーコロ青葉ワークセンター開設	開始障害者アートバンク(現アートビリティ)事業	東京都葛飾福祉工場立石工場開設	東京都大田福祉工場浜松町工場開設統合) (1999年、デジタルメディアセンターにコロニープランニングセンター開設	身体障害者通所授産施設東村山作業所開設	トーコロ情報処理センター開設	東京都大田福祉工場、東京都より経営受託トーコロ情報処理事業部開設



● 2000 (平成 12) 年 コロニー印刷中野工場の所員旅行 横浜・八景島シーパラダイス



● 1991 (平成 3) 年 東京コロニー「クリーン大作戦」 営業部員を動員して八王子市・秋川の清掃活動



● 1975 (昭和 50) 年 6 月 東京都大田福祉工場の創業披露朝刊記事で 工場の創業を知り、かけつけた美濃部都知 事(当時)に花束を贈呈



● 1975 (昭和50) 年6月 大田区大森に身体障害 者福祉工場、東京都大 田福祉工場の経営を受



● 2013(平成 25)年 9 月 IT事業本部が移転した 豊島区南大塚の福祉財団ビル



● 2013(平成 25)年 1月 葛飾区東金町にオープンした 防災ショールームの開所式



● 2011 (平成 23) 年4月 旧仲町小学校の跡地に開設した中野区 仲町就労支援事業所 (3階が事業所)



● 2004 (平成 16) 年 4 月 東京都より受託した東京都障害者 IT サポートセンター (現 東京都障害者 IT 地域支援センター)

<b>2012年</b> (平成24年)	<b>2011年</b> (平成23年)	2010年		<b>09年</b> <sup>成21年)</sup>	<b>2008</b> (平成2		2005年	2004年	<b>200</b> (平成	-
2018年廃止) 中野区より指定管能型に移行	東京都より去人に移譲され、章書福祉サービス東京都葛飾福祉工場、東京都大田福祉工場、東京都大田福祉工場、中野区より指定管理にて受託中野区より指定管理にて受託申野区精神障害者社会復帰センター受託終了に中野区精神障害者社会復帰センター受託終了に	(2018年大田工場に統合) 東京都大田福祉工場浜松町工場を城南島に移転	東村山市障害者就労支援室事業受託	中野江原短期入所開設グループホーム「中野第一・第二江原寮」開寮、	中野区より運営受託(2011年受託終了)施設)	中野区精神障害者社会復帰センター(通所授産	開設居宅介護部門(トーコロ生活支援センター)	(現東京都障害者IT地域支援センター)受託東京都障害者ITサポートセンター	コロニー東村山第二印刷所開設	東久留米氷川台(第一、第二)生活寮開設



● 2015(平成 27)年 5 月 テレワーク推進賞「奨励賞」を受賞 (葛飾福祉工場、職能開発室)



≥社会福祉法人東京コロニー

● 2013 (平成 25) 年 4月 開設した計画相談支援室 「ふきのとう」のパンフレット



● 2009(平成 21)年 2月 グループホーム「中野第一·第二江原寮」 が開設



● 2002(平成 14)年 4 月 東久留米氷川台生活寮が開設



● 2018 (平成 30) 年 4 月 コロニーもみじやま支援 センターが開設



● 2015(平成 27)年 11 月 開設した放課後等デイサービス事業 「アリーバ」に通う特別支援学校の生徒



● 2016(平成 28)年 12 月 葛飾福祉工場をご視察される 天皇皇后両陛下(現上皇上皇 后両陛下)



● 2016(平成 28)年 新しく立ち上げたブランド 「アートビリティプラス」の オリジナル商品

2021年 (令和3年)	2019年 (令和元年)			)18年 成30年)		2016 (平成28		2015 (平成27			) <b>14年</b> 成26年)		)13年 成25年)
(駐車場整備・倉庫棟増築) 完了東京都大田福祉工場 二期工事	青葉町グループホーム 開設	グループホーム「とよたまハイム」開設	東京都大田福祉工場建て替え完了	コロニー中野建て替え完了	コロニーもみじやま支援センター 開設中野区中野福祉作業所廃止にともない	障害者週間にちなみ行幸啓天皇皇后両陛下(現上皇上皇后両陛下)	東京都葛飾福祉工場金町工場建て替え完了	デイサービス事業「アリーバ」開設トーコロあおば就労サポートセンター 放課後等	天神山グループホーム (こあらハイツ) 開設	中野障害者計画相談支援室「ころまっぷ」開設	開設 東京都葛飾福祉工場 障害者計画相談支援室	- T事業本部が豊島区南大塚に移転	「ふきのとう」 開設コロニー障害者計画相談支援室



● 2018 (平成 30) 年3月 グループホーム「とよたまハイム」が開設



● 2018 (平成 30) 年7月 東京都大田福祉工場の新工場棟竣工、全員集合して



● 2018 (平成 30) 年 4 月 コロニー中野の建て替えが完了し生活介護事業を開始

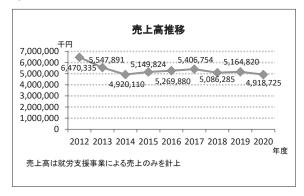
# データで見るこの10年

#### ◇在籍者の推移





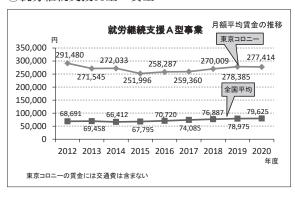
#### ◇売上高・損益の推移





#### ◇支給工賃・賃金の推移

#### ①就労継続支援A型 賃金



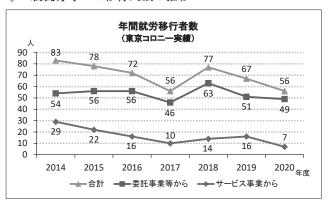
#### ②就労継続支援 B型 工賃



#### ③就労移行支援 工賃/生活介護 工賃



#### ◇一般就労等への移行人数の推移



組織運営表

(2021年12月1日現在)

	事業所	責 任 者	主な作業種目等
	法人本部	理事長 中村 敏彦 常務理事 鬼頭 克介	
	法人事務局	事務局長 星 忍	(一般社団法人ゼンコロ事務局も所在)
		(担当理事)本部長 加藤留美子	
福	障害福祉サービス事業(居宅介護等) (老人居宅介護等) トーコロ生活支援センター		居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援、訪問介護、介護予防訪問介護
祉 事	(グループホーム) 東久留米第二氷川台寮	_	ユニット(東久留米第一・第二・第三氷川台寮・こあらハイツ)
業	中野第二江原寮	事業所長* 加藤留美子	ユニット (えはらハイツ [・  ・  ・とよたまハイム)
本一	青葉町グループホーム (短期入所)	JAMA E Z J	ユニット (あおばハウス I・II、国分寺戸倉寮)
部 –	中野江原短期入所	-	中野区日中一時支援事業
	(特定相談支援) 中野障害者計画相談支援室(ころまっぷ)		計画相談支援事業
1	事務局	(担当理事)本部長 鬼頭 克介	
T - 事	(公益事業) トーコロ情報処理センターデジタルメディアセンター	事業所長 坂田 利胤	WEBシステム開発・企画、法人IT支援事業、 ホームページ作成、システム開発
業本	(公益事業) トーコロ情報処理センター事業部	事業所長 柴田実千代	システム開発、データ入力、受託計算 自治体委託業務(電話交換、総合案内など)
部	(公益事業) トーコロ情報処理センター職能開発室	事業所長 堀込真理子	
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(担当理事) 本部長 今西 康二	15117971111711 = 511 = 155555 124 5 71
	障害福祉サービス事業(就労移行支援、就労継続支援 A型、就労継続支援B型、生活介護) コロニー中野	事業所長* 近藤 章夫	オンデマンド印刷(紙・布製品)、メールサービス、簡易作業、飲食事業 自主製品 E C サイト販売、清掃
	障害福祉サービス事業(就労移行支援、就労継続支援 A型、就労継続支援B型) コロニー東村山		印刷全般、企画・製作、ホームページ作成、 デジタルデータ処理・加工、メールサービス、製本、物品販売業
社	障害福祉サービス事業(就労定着支援) コロニー東村山 就労定着支援室	事業所長* 坂本 崇	就労定着支援事業
会就	(特定相談支援) コロニー障害者計画相談支援室(ふきのとう)	-	計画相談支援事業
	東村山市障害者就労支援室	(大野 宏)	東村山市より委託事業
労	(アートビリティ)	代表 高橋 宏和	障害者アート有料貸出
事業	障害福祉サービス事業(就労移行支援、就労継続支援 B型、生活介護) トーコロ青葉ワークセンター	   事業所長*  - 六川 洋	情報処理サービス、メールサービス、簡易作業、 物品販売業・顧客データ入力作業、清掃
本 -	障害児通所支援事業(放課後等デイサービス) トーコロあおば就労サポートセンター		放課後等デイサービス
部	障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援 B型) 中野区仲町就労支援事業所	事業所長* 井上 忠幸	印刷、簡易作業、清掃、クリーニング、自主製品
	障害福祉サービス事業(就労移行支援、就労継続支援 B型、生活介護) コロニーもみじやま支援センター	事業以目が	簡易作業、自主製品、物品販売業 中野区タイムケア事業
	(短期入所) もみじやま短期入所	事業所長* 今西 康二	中野区日中一時支援事業、中野区緊急一時保護事業
	(特定相談支援) もみじやま障害者計画相談室		計画相談支援事業
福		(担当理事)本部長 鬼頭 克介(兼務) 副本部長 湯浅 克己	
社 工	障害福祉サービス事業(就労移行支援、就労継続支援 A型、就労継続支援B型) 東京都葛飾福祉工場(金町工場)(立石工場)	事業所長*	防災・産業安全用品等販売、縫製、製袋、栽培(植物工場)、軽作業
場	(特定相談支援) 東京都葛飾福祉工場障害者計画相談支援室	鬼頭 克介	計画相談支援事業
	( 7 湖和 半 1 、 カー )		
事 業 _ 本 部	(八潮配送センター) 障害福祉サービス事業(就労移行支援、就労継続支援 A型、就労継続支援B型) 東京都大田福祉工場	事業所長* 湯浅 克己	印刷全般、企画・制作、ホームページ作成、 デジタルデータ処理・加工、メールサービス、清掃

# 事業所紹介 「この10年の振り返りとこれから\_

## コロニー中野



害の方の利用が増え今に至っていま 年の中野区内初の就労継続支援A型 援B型事業の開始に加え、2010 年の就労移行支援事業と就労継続支 精神障害者25・0%となっています。 援法への変更に伴い、 制度から2006年の障害者自立支 じめたこの事業は、 事業授産施設コロニー授産所として 当初は結核回復者が中心となり社会 45 0 % スタートしました。 利用も多くなり、 地にて法人が設立されてから70年、 ニー中野のあるここ中野区江原町 サービス事業別においては、2007 1951年の10月に、 本年10月末現在、 身体障害者が30・0%、 その後、 身体障害者がは 国の制度が措置 知的障害者が 知的障害の方 まさしくコ 精神障

ころです。
して初めて生活介護事業を始め、事業、そして2018年4月から法

2018年の新社屋への改築と新たな

対応の10年ということになります。

0)

## ◇ この10年の動き

対応した、ひとことで言えば重度化へ対応した、ひとことで言えば重度化へにいます。取り巻く環境の変化にいいます。取り巻く環境の変化になから14名に、就労継続支援 B型事業を6名に減らした上で生活介護事業をら名に減らした上で生活介護事業をら名に減らした上で生活介護事業をいるから4名に対けています。取り巻く環境の変化に対応した、ひとことで言えば重度化へ対応した、ひとことで言えば重度化へ



清掃作業に伴う洗濯作業を 生活介護で行っています。

加と平等」の実現に繋がると考えます。 域を用意することで個々のニーズに応 てもらい賃金を上げていく、 くの時間を自分の好きな作業に携わっ 来られない方であっても、 てきました。短時間や少ない日数しか 事業受託など、様々な取り組みを進め 刷物受託事業及び区管理建屋の清掃 での販売、 ドフラワーなど自主製品のECサイト 作業はもちろんバスボム・プリザーブ 生活介護事業の開始は、まさにこの「重 が法人の理念のひとつである「完全参 事」へ関わってもらうこと、このこと と、ディーセントワークとしての え適性を伸ばし自立への支援を行うこ 施設外就労として中野区庁舎内での印 本から個々人の障害特性を踏まえ、軽 就労支援事業においては、 度化」への取り組みに他なりません。 パン・焼き菓子の飲食事業、 少しでも多 印刷事業一 多様な職 仕

## ◇ これからの展望

れる関係が作られたことや、就労継働く仲間から支援者と利用者と呼ば制度の変遷に伴い、かつての共に

所長

近藤章夫



ーー・ イートインのある飲食事業 「ころ・ころ」 の店舗

心掛けたいと考えます。 あり続けたいと思います。そしてそ 70年100年も必要とされる施設で れる役割を果たすべく、これからの べき役割、 実と向き合いながら、我々の果たす ぎません。確かな目でしっかりと現 時代が変わっても我々の理念は揺る なってきているのもまた事実です。 入れられ始め、 ICTの発展や多様な価値観が受け ど様々な課題があるのも事実ですが 続支援A型事業の運営基準の変化な ために常に魅力のある施設運営を 周りから地域から求めら 取り巻く環境も良く

### 東京都葛飾福祉工場

金町工場本館

事業内容

があります。 業所を含む)・立石工場の二つの工場 当事業所には、 金町工場 (多摩営

業を行っております。 者と行う栽培事業のほか、 収穫・販売を就労継続支援B型利用 内水耕栽培で4種類のレタスの栽培・ デザイン・製造を行う縫製事業、 術を誇る、防災服・作業服等の企画・ 災事業、30年以上培ってきた縫製技 難用品の企画・製造・販売を行う防 連事業のパイオニアとして防災・避 お届けする」をコンセプトに防災関 金町工場では、「人に街に、 随時軽作 安心を 屋

2016年6月1日には全てが完成

竣工式を執り行いました。

販売を行なう製袋事業と、 筒の企画・デザインから印刷・製造 立石工場では、オーダーメイド封 一般就労

要な支援をする就労継続支援B型事 機会を提供し知識と能力の向上に必 労移行支援事業と、 を希望する利用者に訓練等を行う就 業を行っております。 軽作業等就労の

## ◇ この10年の動き

場の本館・別館の建替え工事は、 サービスを先駆的に開始しました。 宅で働くことができる在宅就労支援 2013年1月から重度障害者が在 して生まれ変わりました。そして、 立の多機能型障害者就労支援施設と 東京都から民間移譲を受け、法人 り2012年4月1日付をもって 年の歴史に幕を閉じ、 都により開設された当事業所は、 初の身体障害者福祉工場として東京 会的・経済的自立を目的に、国内最 2015年に着工した金町工 1972年4月1日、 制度改革によ 障害者の社 40

う防災用品を備蓄いたしました。 隣住民の方にもご利用いただけるよ 館3階の備蓄倉庫には、 報発信の拠点となる「アンテナショッ せて、別館1階に東京23区東部地区 における防災、 プ」をオープンさせると同時に、別 同年9月1日の「防災の日」に合わ 減災の普及啓発・情 被災時に近

> 異なる4種類のレタスの販売を開始 大手スーパーマーケット等へ食感が 物工場の操業を開始し、葛飾区内の いて完全閉鎖型の屋内水耕栽培の しました。 また、 同年10月より本館1階にお 植

ことのできないこととして温かく心 掛けいただいたことは、 ちなみ天皇皇后両陛下(現在の上皇 に残っております。 があり、両陛下から障害者従業員一 上皇后両陛下)による行幸啓(ご視察) 人ひとりに優しく温かいお言葉をお 同年12月6日の「障害者の日」に 生涯忘れる

重ね、累積剰余金を残すことができ りつつありますが、 年3月に繰出しを実施しました。 3月、2014年12月、2018 財政面では大田工場へ2012年 防災部門の売上も非常に厳しくな 毎年黒字を積み

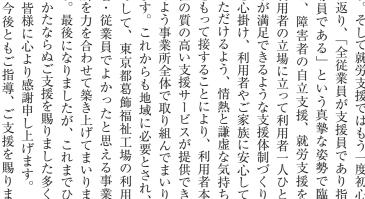
## ◇ これからの展望

ています。

力を仰ぎながら準備を進めておりま 工を目標に、東京都、葛飾区等のご協 す。現在、立石工場の老朽化による移 支援施設に移行して10年目となりま より民間移譲を受け多機能型障害者 50周年の節目を迎え、また、東京都 転建替えを2023年 当事業所は、来年4月1日に開設 (令和5年)竣

利用者の立場に立って利用者一人ひと 導員である」という真摯な姿勢で臨 の皆様に心より感謝申し上げます。 とかたならぬご支援を賜りました多く 所を力を合わせて築き上げてまいりま 者・従業員でよかったと思える事業 そして、東京都葛飾福祉工場の利用 ます。これからも地域に必要とされ、 るよう事業所全体で取り組んでまいり 位の質の高い支援サービスが提供でき をもって接することにより、 いただけるよう、情熱と謙虚な気持ち を心掛け、 りが満足できるような支援体制づくり み、障害者の自立支援、就労支援を に返り、「全従業員が支援員であり指 す。 最後になりましたが、これまでひ そして就労支援ではもう一度初心 利用者やご家族に安心して 利用者本

— 13





すようお願い申し上げます。

立石工場

#### ·東村山



<

事業内容

現在ではだいぶ様変わりしたものの、 躍しています。 作業の現場で、 印刷および、 業でした。時代の変遷にともない、 所設立当初から事業の中心は印刷事 にわたって果たしてきました。事業 に特化した施設としての役割を長年 ある方々の要望に応えるべく、 よび近隣自治体にお住まいの障害の コロニー東村山では、 その関連分野の多様な 利用者さんたちが活 東村山市お 就労

## ◇ この10年の動き

サービス事業としては、 就労継続

> 営しています。 事業を引き続き受託し、 開設した東村山市障害者就労支援室 年11月には就労定着支援事業を開設 のとう」を併設しました。2018 ロニー障害者計画相談支援室「ふき 事業に加え、2015年4月にはコ しています。また、 支援A型・B型事業、 地元東村山市が 就労移行支援 安定的に運

を自己資金で設備し、2019年には す。2013年にオンデマンド印刷機 する中、事業規模を維持拡大するた 2世代目の機械に入れ替えを行いまし めに、さまざまな手法に取り組みま た。現在も順調に稼働しています。 した。その一つはオンデマンド印刷で 印刷事業では、業界全体が規模縮小



オンデマンド印刷機(2世代目)

媒体のデジタル化事業にも取り組ん をいただき、 業です。大学や企業などからご注文 りし、デジタルアーカイブ化する事 らさまざまな紙媒体の資料をお預か できました。印刷事業での得意先か 培った技術を活かせるものとして紙 て実績を積み上げています。 ここ数年においては、 一利益率の高い事業とし 印刷事業で

け、 りますが、 りはるかに難易度の高い事業ではあ 等デジタル化事業をスタートさせま した。前述の紙媒体のデジタル化よ 成により専用の設備を整備し、 つの柱となる事業だと考えています。 さらに直近では、日本財団様 チャレンジすることを決めまし 印刷事業が縮小する中、 全国の障害者施設に先駆 今後一 書籍 の助

## ◇ これからの展望

長年にわたり印刷事業の中で培っ

所長

坂本

崇

借りしています。 れています。 のアートビリティ大賞式典だけでな ブラリー)をコロニー中野より移管 ティ(障害者アート専門の芸術ライ アートコンクール」の事務局を任さ 2019年4月には、 三菱地所様から「キラキラっと 拠点はコロニー中野に間 都心へのアクセスの利便 定例審査会や毎年 アー ・トビリ

性を考え、

しました。

ものです。直近でスタートさせた書 多様化させることは、 ための土壌となっています。 づけられるものです。 今後の事業展開を考えるうえで勇気 ともに大きな可能性を感じており、 さんが活躍し始めています。驚きと には想像していなかった形で利用者 籍等デジタル化事業では、始める前 の職域の多様化にもつなげていける てきたものが、 新たな事業を始める 障害のある方 事業を

据えた方針を早急に決定し、 努めて参ります。 多様化を図り、 取り組んでいかなければなりません。 うとしています。 物はもうすぐ建築から50年を迎えよ 大きな課題が目の前にあります。建 役割を果たし続けるため、 今後も就労に特化した施設として 一方で、建物や設備の老朽化など、 安定的な事業運営に 10年後20年後を見 解決に 職域の



「本」専用のスキャナ

## 東京都大田福祉工場



東京都大田福祉工場全景

まれ変わりました。

従来の福祉工場

祉サービス多機能型事業所として生

京コロニーに移譲し、

新たな障害福

管理を配置しております。

2012年に東京都は当工場を東

辿ったスパンとして感慨深いものがあ 東京都からの民間移譲、障害福祉サー ることなく「ともに生き、ともに働く」 営にあります。 換点にあたり、工場の新たな再生を 棟の建て替えと工場創立以来の大転 ビス事業の創設、老朽化に伴う工場 (当事者主体) をベースにした事業運 大田福祉工場の10年を振り返ると、 その中で一貫していたのは平等性 そしてこれからも変わ

## 事業内容

工場として運営していく決意です。

る総合印刷業として事業展開してお 動として位置づけ、 当初から現在まで印刷事業を生産活 で創立し46年が経ちました。 ・製本、分梱・発送までカバーす 東京都が1975年に大田 ハンドリングを担う営業、 編集制作から印 福祉 創立 生産 工

## ◇ この10年の動き

80名の定員で運営しております。 年には就労定着支援も開始し、 けた支援を行う就労移行支援のサー とした就労継続支援B型や就職に向 することで将来的な一般就労を目標 新たに、訓練として就労の場を提供 は就労継続支援A型事業に移行し、

ビスを開始しました。また2018

現在

した。 が施行されたことにより官公需を主 2013年に障害者優先調達推進法 受注活動は大きく低迷しましたが、 なくなり自由競争になったことで 事 工場」へ転換し収益改善が図られま る化」を実現することで、「より稼ぐ く新価格計算を導入し「利益の見え 経営改善に向け原価計算主義に基づ 回復が見られました。ほぼ同時期に 体とする当工場にとっては追い風と なり、2015年頃から徐々に受注 ・業所時代の特命随意契約制度は 民間移譲以降、 印刷事業では都立

支援B型事業、 2012年より開始した就労継続 就労移行支援事業は

> 内のニーズに沿う形で積極的に受け入 も継続していきます。 事業所のミッションとしており今後 難を抱える方を受け入れる」ことを れを行い、増える利用希望に応え定員 業所が少なく、事業開始当初から区 高次脳機能障害の方を受け入れる事 ますが、機能訓練を終えた片麻痺や ある方への支援事業所は充足してい ある大田区は知的障害や精神障害の 規模に拡大しております。事業所が 員で開始しましたが、 開設当初、 おります。一貫して「行き場のない困 も順次拡大を進め現在の定員になって 両事業合わせて20名の定 現在は50名の

場として再出発しております。 年度に旧宿舎棟を仮設事業所に改築、 とから建て替えを行うことになり、 新工場棟整備に伴い印刷製本部門の 終了しました。2018年8月には 始から足かけ10年ですべての事業が 場等外構工事 12月~2021年5月倉庫棟、駐車 工場棟整備 (一期工事)、2020年 2017年4月~2018年6月新 活用し事業を進めました。2014 東京都民間移譲施設整備補助事業を に35年を経過しており老朽化したこ 分工場があった城南島工場が廃止さ 工場棟の建物が2010年ですで 34年ぶりに全工程を持つ単 (二期工事)と構想開 二工

## ◇ これからの展望

できると考えます。 ら今後の事業の展望が見出すことが 働く」という東京コロニーの原点か あるのではないでしょうか。 ロニーのコンセプトである「平等性 (当事者主体)・企業性・民間性」に :々な課題に対応するカギは東京コ 厳しい時代環境のなかであっても ともに

重要だと考えます。 の課題にいつでも答えを持つことが 性を意識し高めていくことなど経営 に自らを変えていく努力、 た。時代、環境の変化に即応して常 が必要なこともこの10年で学びまし せん。同時に事業に対し厳しい態度 ニーに求められているのかもしれま た魅力ある関係性の創出が東京コロ どう作り出すのか、「支援」を超越し 向け誰もが安心して生活できる糧を な処遇をどう確保するのか、未来へ 対等な意思決定や公正で必要十分 手元流動

り御礼申し上げます。 たものです。事業所を代表して心よ んの全面的なご支援があり実現でき 譲や工場改築は葛飾福祉工場の皆さ ので感謝いたします。そして民間移 べての方々の日ごろの努力によるも えられたのは大田福祉工場で働くす 最後に大転換の10年をこうして迎

所長 湯浅 克己

## IT事業本部

## トーコロ情報処理センター事業部

## ◇事業内容

謝いたします。 皆さまの温かいご支援のお陰だと感 何事もなくここまで来られたのは、 としております。 めざして事業を進めてまいりました。 域の拡大・雇用の促進として自立を . ターとして設立後約40年になろう 当事業所は、 トーコロ情報処理セ 障害のある方の職

おります。 案内業務及び総合受付案内を行って 当事業所では、 データ入力・電話

行うことで皆様に安心していただけ チェック機能を取り入れた専用機を が同じように入力しミスをなくす コン入力と大きく異なる点は、一度 力は事業の柱となっています。 入力したデータを、 |確をモットーとし、迅速な処理を 【用していることです。スピード、 データ入力専用機によるデータ入 もう一度別の人 パソ



ております。 様のご案内等を長年にわたり行わせ 業務や、役所にお越しになられた皆 まった事業です。自治体様に掛かっ ていただいておりますことに感謝し 務は自治体様よりの意向を受けて始 てくる電話を受け各部署に取り次ぐ るように日々努力しております。 電話案内業務及び総合受付案内業

## ◇ この10年の動き

た。 での大きな変化は予想外のものでし 様方のご支援をいただいたお陰だと すこともなく事業を行えたことは皆 お礼申し上げます。 10 パソコン等の普及により紙媒体 一年の間で、収支のマイナスを出 しかし、十年間

動きがあり、 請け負っていた委託業務が現在は1

## 自治体になったことです。

## りますが、従業員一丸となって頑張 り一段と厳しい事態になってきてお においても同様な状況が起こってお まいりました。 努力してきたことで乗り切って

◇これからの展望

げます。 ご指導を賜りますようお願い申し上 想定されますが、 ております。 ることで頑張ってまいりたいと思っ を受けたこと、オンライン化等が進 コロナウイルス感染症で大きな打撃 んだことで、入力データの減少等が 問題なく進めてきた事業も、 今後とも一層のご支援 今は何とか乗り切 新型

所長 柴田実千代

## デジタルメディアセンター

切って、 され、システム/Web開発やホー ピュータ部門の職域開発の先陣を ムページ制作を主に受託業務を行い、 事 業所は重度障害者 専門集団として事業が開設 0) コ ン

> 柱となっております。 む)といった業務が、 支援(ネットワーク管理サポート含 の導入に係る支援や、導入後の運用 部門の役割として、基幹系システム いりました。また、法人内ではIT 多くのお客様のご要望に対応してま もうひとつの

と、その中で自治体においても同じ 行し、入力データが減少してきたこ で行っていた業務がオンラインへ移

10年前は3自治体より

他の業務

じたシステムの改修や更新、 で終わりではなく、業務の変化に応 続性が求められてまいりました。 れに適応したシステムの必要性や継 ピュータの時代へと著しく変化し、そ ネットワーク化、そしてクラウドコン ソコンへのダウンサイジング、Web・ 返ると、大型電子計算機に始まり、パ システムは、一度導入したらそれ コンピュータシステムの市場を振り 企画



繰り返しながら、時代の流れに順応 ております。 様の厚いご尽力により、 務が発生します。我々も試行錯誤を し、手段や手法を変化させつつ、皆 日々の運用サポートなどの業 現在に至っ

も大いに活用され、私たちの生活は さらなる発展により障害福祉分野で れるAI(人工知能) 新しい社会基盤の位置付けが期待さ 可欠なものとなっております。また、 環境も含め、日常の生活には必要不 は、ネットワークを利活用する通信 より豊かになっていくものと思われ 今や、パソコンやスマートフォン 技術は、 今後

と思います。 今後の事業発展に努めてまいりたい 障害者の積極的な雇用を考えながら、 と考えます。また、ITを活用した 欲といった特性も重要な要素である 解決能力、情報収集力、技術向上意 にわたる複合的な技術や問題・課題 力を持っているだけではなく、多岐 アとして、 れからも専門集団として、 時代と共に変化する環境の中、 単に高度な設計や開発能 エンジニ ح

所長 坂 田 |利胤

用し、各自の作業

センター)」を活

ますよう、よろしくお願い申し上げ

ター(以下、

I T

今後ともより一層のご支援を賜り

## 事業内容

修了生は百人以上がICTを駆使し 用事例が次々と生まれ、 及の後押しで、場所に捉われない雇 重度障害のある方の在宅就労を目標 わっております。インターネット普 としたコンピューター教育等に携 てテレワーカーと 当事業所は、 1980年代より、 教育事業の

害者在宅パソコン 事業「重度身体障 講習事業」)。 して活躍していま (東京都補助 (V) 調師

す。また、別事業 クーリングを併用 じ場で学ぶ集合ス IT地域支援セン する方法にありま 訪問や、仲間と同 師による講習生宅 隔教育を軸に、 ネットを介した遠 ントは、インター この講習のポイ 「東京都障害者







ご体験が可能です。 わせがあります。センター内では、 ご家族等からの機器相談を中心とし に応じて行っております。 せて250ほどの展示があり、全て における支援機器の環境整備も必要 ハードウェアとソフトウェアを合わ た場所で、 ITセンターは、障害のある方や 毎月約200件の問い合

毎年百人を超しております。 自治体職員等を対象にした「障害者 IT支援者養成研修」の参加者は、 また、区市町村からの相談も多く、

## ◇ この十年の動きとこれから

予想を上回るテクノロジーの進化 研修に使うデバイスや在宅就労の



在宅パソコン講習の訪問指導の様子

IT センターに展示している入力支援機器

マウス類

として、その選択を支えています。 業や「在宅就業支援団体(国の認可)」 に考え、当事業所は「職業紹介」事 ど自分にあった働き方を2年間で真剣 す。修了生は、雇用やフリーランスな あわせて工夫しながら実施しておりま ず、一定レベルの学びを各自の状況に 目標としており、合格の可否に関わら らず情報処理の国家資格取得を一つの ます。一方で、講習では、 外にも特性を活かせる業務が増えてい 雇用の職域は多様となり、高い技術以 作業環境は大きく変化しました。 時代のニーズを先進的に捉えなが 30年間変わ

所長 堀込真理子 援のほどよろしくお願い申し上げま

次の10年も丁寧にバトンをつないで

労働の普遍的な喜びを大切に、

いきたいです。どうぞ今後ともご支

### トーコロ青葉ワークセンター



## ◇ 事業内容

養護学校などから定員増の要望が強 だわらない運営を目指してきました。 害者の受入れを行い、 とする。)を積極的に活用し、 施設の効果的運営を図ることを目的 よって、障害者の地域で働く場を確 身体障害者の知的障害者授産施設を 的障害者の身体障害者授産施設及び なります。 施設として開設し、 活動の場である身体障害者通所授産 く寄せられ1995(平成7)年には、 定割合相互に通所利用することに 1990 (平成2) (現特別支援学校)卒業生の日中 自立を促進するとともに授産 当初より相互利用制度(知 本年度で31年と 年に、 障害種別にこ 養護学 知的障

> 継続支援B型事業)としました。 センター る多機能型施設トーコロ青葉ワーク 支援法(現障害者総合支援法)によ 年には三施設を統合し、 設となりました。2007 でも珍しい三障害合築の通所授産施 者通所授産施設が設置された、全国 知的障害者通所授産施設、 アごとに身体障害者通所授産施設、 4階建ての現在の姿に増築し、 (就労移行支援事業、 障害者自立 精神障害 (平成19 フロ

## ◇ この10年の動き

更いたしました。 2014 (平成26) 年には、15名から8名に、2016年には6名に変いたしました。

また2015(平成27)年11月よの実現」を目指して、障害のある人の実現」を目指して、障害のある人になの向上に努めています。

ŋ

放課後等デイサービス事業のトー

本:アリーバ)を開始しました。こ称:アリーバ)を開始しました。こ称:アリーバ)を開始しました。この事業の特徴は、就学時から始めるの事業の個性と状況を把握して、無ひとりの個性と状況を把握して、無ひとりの個性と状況を把握して、無ずのない支援計画を作り、ご家庭や学校と連携した支援に取り組んでい学校と連携した支援に取り組んでいる。



## ◇ これからの展望

た日中活動のため、生活介護にサーには加齢による障害の重度化等に成労支援を提供することが、本人に就労支援を提供することが、本人に就労支援を提供することが、本人に対しています。これまでは、ご本人に適しいます。これまでは、ご本人に適しいます。これまでは、ご本人に適し、利用者の

作成に取り組んでいるところです。 新しい事業となるような自主製品 き方ができる生活介護事業の立ち上 護事業所に繋げてまいりました。 ご家族ご了解のうえ、地域の生活 プログラムをトライアル的に行い、 タートいたしました。 月より6名定員で生活介護事業をス げが必要であると判断し、本年度6 めに、就労継続支援B型とは違う働 ていくそういったケースに対応するた な負担となっています。 本人のみならずご家族にとっても大き しい環境に順応しなければならず、 かし、慣れ親しんだ事業所を離れ、 ビスへの変更をご提案し、ご本人、 以上のように放課後等デイサービ 現在、 今後も増え 様々な

以上のように放課後等デイサービス事業から就労継続支援B型、就労ス事業から就労継続支援B型、就労る事業所として、これまで以上に地る事業所として、これまで以上に地る事業所として、これまで以上に地います。





### 福祉事業本部



2015年に開設したこあらハイツ

ています。

短期入所事業は、

2009年に中

移動支援などのサービス提供を行

居宅介護、

重度訪問介護、

◇ 事業内容

業を運営しています。 護事業等、その他、 ループホーム、短期入所、 地域生活を支援する事業として、 特定相談支援事 居宅介

0)

前 に至っています。 福祉事業本部として独立させ、 区)を開設した時点で、それまで法 2009年に中野第二江原寮 人本部管轄であった生活支援事業を 1997年に国分寺戸倉寮 グループホーム(共同生活援助)は、 2002年に東久留米第二氷川 (東久留米市)を開設しました。 (国分寺 (中野 現在

生活全般を支援していくために、グ 介護事業等)は、 ープホーム事業だけでは不十分と トーコロ生活支援センター 2005年に立ち上げ、 入居者の皆さんの (居宅 通院

## ◇ この10年の動き

グループホーム事業と併せての運営 野第二江原寮の一角に二部屋を設け、

を行っています。

た。 2018年7月廃止)と開設しまし 建物を整備し、 を改修する形で、グループホームの 京都の補助金により大家さんの建物 グループホーム 区)、2014年ピア戸倉 2012年えはらハイツⅡ 員2名が最低人数)なユニットを、 寮(東久留米市)として始めていた 2008年に東久留米第三氷川台 ツ 賃貸アパートを借りての小規模 ための取り組みを行いつつ、すでに ハイム (練馬区)、2019年青葉町 グループホームの建物を確保する (西東京市)、2018年とよたま その後、2015年こあらハイ 開設しました。 (東村山市)と、 (国分寺市、 (中野 (定 東

度の創設に伴い、 談支援室(ころまっぷ)を立ち上げ、 2014年には、 中野障害者計画相 計画相談事業制

事業所のある中野区内の方を中心に や余暇活動の支援を行ってきました。 ループホーム入居者だけでなく 同行援護、 を行ってきました。 プホームの利用者を対象に計画作成 野 地 域の法人内日中活動やグル

1

## ◇ これからの展望

して、 況は改善されています。 を向けてもらえるようになり、建 と言えます。また、 だけでは充分な運営ができない状況 活用としてグループホーム運営に目 支のバランスを取れる事業になった の中でしっかりと位置づけられ、 もありましたが、 制度は多くの改正がありました。そ )確保が難しかった頃に比べると状 この10年でグループホーム事業の かつてはグループホーム事業 障害者総合支援法 社会的にも資産 しかし、 収 物



2018年に開設したとよたまハイム

ており、 制度改正案も出てきています。 もあり、中軽度の方の報酬減が起こっ ム利用を促進しようとする国の動き 援の質の問題が問われています。 支援が行われないケースも出て、 ループホームが、 小規模な暮らしの場であるはずのグ いさまざまな事業者の参入により、 方では障害福祉サービスの実績がな また、より重度な方のグループホー 一人暮らしの支援を求める 大規模化や充分な 支

しの場」という考え方を忘れること 定運営をしていくか、 法人組織の中でどのように末永く安 ループホームなどの生活支援事業を 会的環境の変化を注視しつつも、 家族の希望にそった安心な暮らしが できるよう、 法人としては、これらの制度や社 「グループホームは少人数の暮ら あくまで、 取り組んでまいります。 入居者ご本人やご 検討していま グ

事業本部長

加藤留美子

2019 年に開設した 青葉町グループホーム

### 中野区仲町就労支援事業所

## ◇ この10年を振り返って

事業所ですのでそのたびに公募が行 度の契約更新を行いました。公設の 期間は5年ですので、この間では2 こちらは2011 (平成23) 年3月 トすることになりました。指定管理 定員の多機能型事業所としてスター 定管理事業として就労継続支援B型 末日をもって廃止となり、新たに指 を業務委託にて運営していましたが、 中野区精神障害者社会復帰センター 用した場所にて事業を開始しました。 旧中野区立仲町小学校の校舎を再利 生した東日本大震災のあと、 2011 (平成23) 年3月11日に発 以前は「スマイルなかの」において、 就労移行支援6名、 当法人が指定されてきました 合計27名 4月に

> 思えます。 運営事業者像も変化してきたようにが、時代の流れとともに求められる

## 指定管理としての事業開始

 $\Diamond$ 

府あてに提出されましたが、その内容 よる障害者権利条約の批准がなされ ことも多くあります。また、 が新たな障害者総合支援法に反映さ 体等による骨格提言がまとめられ政 総合福祉法を作ることが約束されま 障害者自立支援法を廃止し、 書が取り交わされており、その中では 者自立支援法違憲訴訟の基本合意文 となっていました。開設前年には障害 設当初は障害者自立支援法が根拠法 年だったかを振り返ってみますと、開 ました。 れたかというと決してそうではない した。開設した年の8月には当事者団 事業所として、この10年どのような 国連に 新たな

る必要がありました。一例では、利開始しました大きな流れの中で事業を用する方も多くいたことから、できるだけ少ない変化を心がけて運営しるだけ少ない変化を心がけて運営してきました。また指定管理の中では、中野区との基本協定により、その内中野区との基本協定により、その内中野区との基本協定により、その内中野区との基本協定により、その内中野区との基本協定により、できるが表した。一例では、利力により、

盤が重要との観点から、医療や地域 ない方につきましても、 す。 トリーチ支援も視野に入れた取り組 できるように、 の社会資源と連携をしながら支援が 日中活動を行うには安定した生活基 能型事業所となりますが、安定した 援B型と就労移行支援の2事業多機 運営が求められるようになってきま いますし、より地域に根差した施設 方であってもここでは受け入れを行 す。他の施設では受け入れが困難な タルケアが必要な方は対象となりま となります。さらには障害者手帳が 次脳機能障害、 ので、精神障害をはじめ発達障害や高 福祉手帳所持者が対象者となります 用できるのは中野区民のみとなりま みを行っています。 した。就労支援が中心で就労継続支 主たる障害については精神保健 専門職の配置やアウ 若年性認知症も対象 何らかのメン

## ◇ 地域と歩む

生活の支援、中野区障害者自立支援 たすべく、就労支援をはじめとして たすべく、就労支援をはじめとして の生活拠点と連携し、地域生活安定 の生活拠点と連携し、地域生活安定 の生活拠点と連携し、地域生活安定

は議会の各部会連携や、中野区就労協議会の各部会連携や、中野区就労協議会の各部会連携にないています。多様化するなくてはならない社会資源としてのなくてはならない社会資源としてのなくてはならない社会資源とした各部会連携や、中野区就労協議会の各部会連携や、中野区就労協議会の各部会連携や、中野区就労協議会の各部会連携や、中野区就労協議会の各部会連携や、中野区就労

## 新たな10年にむけて

世界的なコロナ禍の最中に70周年を迎えたところですが、これからのを迎えたところですが、これからのか考えられます。そうした中でも努力を怠らず、区内になくてはならない事業所としての運営を目指し、日々は事業所としての運営を目指し、日々になからのですが、これからのと思います。

所長 井上忠幸



名刺の点字印刷

### 1ロニーもみじやま支援センタ



## ◇これまでの歩み

はまだ4年目の新しい事業所です。迎えた東京コロニーの歴史においては2018年4月に開所、70周年をコロニーもみじやま支援センター

特定相談支援事業も行っています。 特定相談支援事業も行っています。 中野区の障害福祉計画に沿って中野区の障害福祉計画に会談でれて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営法人に選定されて開京コロニーが運営を表があり、東所施設」としています。

祉作業所を利用していた方たちの新もって事業を終了した中野区中野福開所時には2018年3月末を

者を迎えて事業を開始いたしました。者を迎えて事業を開始いたしました。中野区中野福祉作業所も2012年度より指定管理者として東京コロ年度より指定管理者として東京コロニーが中野区より事業の運営を引き継ぎました。それ以前から通所していた方々の多くは、当時新たな運営法人として私たちを迎え、その後通法人として私たちを迎え、その後通法人として私たちを迎え、その後通法人として私たちを迎え、その後通法人として私たちを迎え、その後通法人として私たちを迎え、その後通法人として私たちを迎え、その後通法人として私たちを迎えた。

たな通所先とし、そこに特別支援学

現在のコロニーもみじやま支援センターの運営法人に指定されてからは、建設と事業開始に向け皆さまにな、建設と事業開始に向け皆さまになができ、以降毎年特別支援学校からの卒業生をはじめ各年度新たな利用者を迎えながら現在86名が在籍する事業所となりました。

## ◇ 事業内容

法人内外の障害福祉サービス事業所か業の生産や小物製作などの自主生産、事業所内に設けた水耕栽培室での野組立加工・清掃など軽作業の受託、事業所の日中活動ではDM封入・事業所の日中活動ではDM封入・

います。



3階作業室での軽作業

様化していますが、例年9割近い高い した事業運営を進めていきたいと思 き皆さまのご協力を賜りながら安定 で黒字化を達成、 的に日々の活動に取り組んでいます。 通所率を維持し、 の障害種別や個別のニーズは年々多 画に基づき行っています。 それぞれの利用サービスや個別支援計 生活支援、PTによるリハビリなどを 支援事業としています。またその他の ら仕入れた製品の販売などを主な就労 余暇活動、一般就労に向けた就職活動 2020年度には事業開始3年目 、これからも引き続 皆さん明るく意欲 通所利用者

## ◇ これからの展望

ここまで通所利用者は継続して増

加を続けてきておりますが、それに押い日中活動の確保と支払工賃の維持向上のため就労支援事業の受注増加、加工高確保には継続して取り組加、加工高確保には継続して取り組まなければなりません。また現在の生活介護事業において重度心身障害と活介護事業において重度心身障害といから利用を希望される方々もよいがら利用を希望される方々もよいがられる役割の多様化を実感して求められる役割の多様化を実感して求められる役割の多様化を実感して求められる役割の多様化を実感して

東京コロニー70年の歴史を通じたれからも変容していく福祉に求められる役割を果たしていけるよう努力のを重ねていきたいと思います。



生活介護の食事の様子

デジタルメディアセンターのシステム開発会議



東京都大田福祉工場の無線綴じ丁合ラインによる製本業務



東京都葛飾福祉工場の封入作業の様子



トーコロ青葉ワークセンターの 清掃チームメンバー



コロニーもみじやま支援センター 内のショップ「十五や」で接客 の練習





トーコロ情報処理センター事業部の データ入力業務



新型コロナウイルス感染症の流行により制限が多い中で、

日々懸命に取り組む事業所の様子です

在宅就業従業員の Webプログラミング 業務 (東京都葛飾福祉工場)



コロニー東村山での「のぼりPOP」 作成作業

中野区仲町就労支援事業所の クリーニング業務



コ<mark>ロニー中野「ベーカリーころころ」にて新調したユニフォームで</mark> 記念撮影



東京都葛飾福祉工場の植物工場でのレタスの水耕 栽培



東京都葛飾福祉工場縫製課で ユニフォームを制作する様子



コロニー東村山 (中野拠点) の印刷営業スタッフ



東京都大田福祉工場での清掃業務



職能開発室の在宅パソコン講習生が 東京都葛飾福祉工場の在宅就労の様 子を見学



コロナ禍のためオンラインで開催した アートビリティ大賞式典



東京都障害者 IT 地域支援センターで 入力支援機器のフィッティング支援



東京都大田福祉工場の 「都会で炭焼きプロジェクト」で炭をつくる



コロニーもみじやま支援センターのプログラム 「ジェルキャンドルを作ろう!」



トーコロ青葉ワークセンターの バーチャル旅行イベントにて



「とよたまハイム」の自室で憩いのひととき



コロニー東村山「コロニー祭り」の代わりの 「大ストラックアウト& BINGO」大会!



コロニー中野 内部だけの「コロニー祭り」で、 手作りアクセサリーの販売

### ●記念ロゴマークの公募●

70周年を記念して、従業員・利用者からロゴマークを公募し、36個の作品が集まりました。その中から投票により最優秀賞、優秀賞が選ばれました。

#### 最優秀賞(採用)



#### 

COLONYの「C」をかたどった外枠に、「7」は手と手を取って 支え合っている姿を、ハートとスマイルで「0」を描き、水玉は 振りまく笑顔と愛を、カラフルな色は様々な障害・個性を表現し ています。

『仲間たちと共に力を合わせて、未来に向かって笑顔で前進する東京コロニー』という思いを込めて制作いたしました。



東京都葛飾福祉工場



デジタルメディアセンター



大串 亮太 さん 酒井 悠太 さん 安本 祐希 さん



コロニー東村山



#### 記念動画のご案内

70周年にあたり、これまで支えてくださった皆様へ感謝の気持ちをお伝えしたいと思い、動画を作成いたしました。 是非ご覧ください。

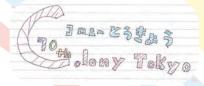
https://www.tocolo.or.jp/

東京コロニー

検索



### 他にもたくさんの作品の応募がありました





















































#### 〈70周年記念事業委員〉

高橋 宏和 (コロニー東村山)

坂田 利胤(デジタルメディアセンター)

古澤 洋 (東京都葛飾福祉工場)

柴田 静 (東京都大田福祉工場)

麻生 研太 (コロニーもみじやま支援センター)

高村 良介(トーコロ青葉ワークセンター)

森山 弘臣 (コロニー中野)

中野 弥穂 (福祉事業本部)

星 忍 (法人本部)

岩田 真紀 (法人本部)

河内 由紀江 (法人本部)

# 2021(令和3)年度 半期事業報

## 1. 総括

本年度の事業計画は、長引く新型本年度の事業計画は、長引く新型については厳しい状況が続くことを前提とした事業計画を立てて臨んでいます。感染予防対策には継続して対応しており、会議等においてはオンラインで開催し、拠点ごとの取り組みは適宜メーリングリスト等にり組みは適宜メーリングリスト等により情報共有に努めましたが、現在までクラスターの発生は回避することでクラスターの発生は回避することができています。そのような背景の中、法人創立70周年の記念行事について、委員会を中心に自粛した内容で企画検討を行いました。

> 田にわたる危機管理が求められてい ます。ついては、法人運営において も持続可能な目標が重要であり、先 も持続可能な目標が重要であり、先 で)の総括を終え、下半期では、 で)の総括を終え、下半期では具体 で)の総括を終え、下半期では具体 的な計画を協議しているところです。 別き続き、利用者一人ひとりのニー がな把握し、適切な支援が提供でき るよう全力で努めたいと思います。

## 成状況 2. 上半期事業結果と年度方針の達

本年度の事業方針の柱は、障害福祉サービス事業の充実、ならびに就社サービス事業の充実、ならびに就た。しかし、コロナ禍の影響は深刻た。しかし、コロナ禍の影響は深刻た。しかし、コロナ禍の影響は深刻であり、就労支援事業への影響は深刻であり、就労支援事業への影響は深刻に表れ、様々な活動において一定の制限はやむを得ない状況が続いています。

## 経営の基本方針

(1)

経営理念や倫理、社会的役割に

して取り組んでいます。 ンスを重んじた法人運営に継続 伴うコンプライアンスやガバナ

福祉サービスの質的向上のために、第三者サービス評価機関に、第三者サービス評価機関 リモートで予定し、苦情解決第 三者委員制度の設置や広報誌や 三者委員制度の設置や広報誌や に取り組み、監事による内部監 に取り組み、監事による内部監

しました。 人の規程等を必要に応じて見直 法改正や業務改善などに伴う法

## (2)財務・資金管理

・会計顧問の指導を受けながら、会計基準により精度の高い管理に努め、さらに外部会計監査人の指導を会計管理に反映させています。

## (3)事業の継続

口となって調整に努めています。

・常に経営改善に視点を置き、

持

環境づくりに努め、

一人ひとり

予防を徹底し、経営の維持に最は、新型コロナウイルスの感染図っています。とりわけ本年度続可能な事業への体質改善を

大限努力しています。

※2021年9月末時点の報告書となります。

・新規事業を含めて早期の事業安 で といれる でいます。 しかし、当 取り組んでいます。 しかし、当 面は体力維持を優先課題とせざ のは は のいます。 といれる でいます。 といれる でいます。

## (4)人材確保・育成

保に努めています。ジや求人媒体に掲載し、人材確ジや求人媒体に掲載し、人材確

等をつうじて風通しの良い職場 ととを目的とした教育、研修を 集合形態がとれず、オンライン 集合形態がとれず、オンライン がしています。継続して人材育 施しています。継続して人材育 がしています。継続して人材育 がしています。ともに、人事考 はに取り組むとともに、人事考

(5)他の団体との協力連携の活躍の場の充実を目指します。

障害者福祉の向上のために、 省庁ならびに、 割発揮ができるように、可能な 社会就労センター、日本セルプ 動法人日本障害者協議会、全国 東京都社会福祉協議会、一般社 限り配慮し支援しています。 対外的な立場において充分に役 たしています。また、従業員等が、 などにおいて積極的に役割を果 センター、東京都セルプセンター 市自治体、 「法人ゼンコロ、特定非営利活 全国社会福祉協議会、 東京都、 各区 各

## (6) 地域活動

・拠点ごとの地域活動においては、各自治体との連携を深め情報交換を密にしながら、地域福祉の向上ならびにニーズに応じた障害者福祉の充実に努めています。また、地域の福祉関連ネットワークには積極的に参画し、重要な社会資源になり得ることを目指社会資源になり得ることを目れています。

## 3. 各事業本部の計画概要

就労支援事業の安定経営ならびに福み、影響を最低限に抑える努力をし、各拠点では感染予防に全力で取り組コロナ禍における様々な制限の中、

公的補助のない事業本部として、

コ

り組んでいます。 祉支援の充実、職場環境づくりに取

①法人本部(事務局)

法人全体および法人内の各事業が法人全体および法人内の各事業運営に行いて役割を果たおける改善などにおいて役割を果たしています。年間の教育研修計画のしています。年間の教育研修計画のの事業運営に貢献し、総務・事務部別の連携により的確な情報提供・共同の連携により的確な情報提供・共同の連携により的確な情報提供・共同の連携により的確な情報という。

(2)福祉事業本部(グループホーム等、

地域生活を支援する事業として、 地域生活を支援する事業を運営 
し、本年度は、既存事業の体制を整え、 
で本部長が兼務しています。これまで本部長が兼務していた各事業所の 
管理者について、東京都の指導にも 
とづき、現場の実質的な管理を担当 
する者による専任体制に改めました。 
する者による専任体制に改めました。 
ンター(事業部、職能開発室、デジ 
クルメディアセンター)

や価格、受注量などすべての案件で厳 を果たしています。事業部では、入札 内各事業所に関わり、 ロナ禍の影響を最も多く受けており、 (4)社会就労事業本部(コロニー中野、 え変則的な体制で運営しています。 いますが、引き続き感染対策を踏ま の底辺拡大のための事業を実施して 就労の支援・啓発の事業、 能開発室では、ITの教育および在宅 で厳しさを増す状況でありました。職 ディアセンターもまた、関連事業全体 しい状況が続き、勤務日の調整等を行 厳しい経営状況が続いています。 いながら対応しています。デジタルメ 委員会などをつうじて横断的に役割 人内では、IT技術等を介して法人 ロニー東村山、 ニーもみじやま支援センター、 中野区仲町就労支援事業所、 トーコロ青葉ワー ネットワーク 情報利活用 コロロ 法 コ

間に入りました。コロニー東村山では、就労支援事業所は新たな指定管理期い状況が続いています。コロニー中野い状況が続いています。就労支援活助は、飲食や軽作業など軒並み厳ししながら対応しています。就労支援活力ロニーもみじやま支援センターでは、の受け入れを充実させています。就労支援活力では、大名を表表しながら対応しています。就労支援活力に入りました。コロニー東付いたとりの状況を把握時短利用など一人ひとりの状況を把握時短利用など一人ひとりの状況を把握

新規事業として書籍等デジタル化事業 新規事業として書籍等デジタル化事業 に着手しました。トーコロ青葉ワーク センターでは、余暇プログラムや多く のイベントを中止せざるを得ませんで したが、工夫できる範囲で楽しめる企 したが、工夫できる範囲で楽しめる企 で生活介護事業を6月に開始しました。 た生活介護事業本部(東京都葛飾福祉 工場、東京都大田福祉工場)

度5月末をもって竣工となりました。 外構工事と倉庫棟の工事を終え、本年 業二期工事は、植栽や駐車場整備等の ならびに大田通勤寮跡地の施設整備事 保することができています。旧宿舎棟 た。福祉活動については、コロナ禍 比較して増加に転じることができまし いますが、売上高、加工高は前年度と により生産活動の減退傾向は継続して との協議が開始されました。東京都大 立石工場の建て替えについて、 援体制づくりに取り組みました。また、 が満足できるよう利用目的に沿った支 利用者の立場に立ち利用者一人ひとり り、障害者の自立支援、就労支援を す。感染予防には徹底して対応してお の事業ともに厳しい状況となっていま ロナウイルスの影響により、それぞれ 中にあってもほぼ定員に近い人員を確 田福祉工場も同様に、コロナ禍の影響 東京都葛飾福祉工場でも、 東京都

クセンター)

#### 表1 在籍者の推移

自2021(令和3)年4月1日 至2021(令和3)年9月30日

(単位:人)

	前年度末		期中	増減			上半期末		
	在籍者数	増	員	減	員	自己都合	一般就労	疾病、その他	在籍者数
雇用就労者	93	2	(0)	4	(0)	3	0	1	91
() () () () () () () () () () () () () (	(82)	(2)	(0)	(3)	(0)	(3)	(0)	(0)	(81)
事業・施設の利用者	426	30	(0)	15	(0)	8	4	3	441
その他	104	12	(0)	13	(0)	0	0	13	103
障害がある在籍者(計)	623	623 44 (0) 32		32	(0)	11	4	17	635
	(82)	(2)	(0)	(3)	(0)	(3)	(0)	(0)	(81)
障害がない在籍者	272	33	(1)	12	(1)	10	0	1	293
V 31	895	77	(1)	44	(1)	21	4	18	928
合 計	(82)	(2)	(0)	(3)	(0)	(3)	(0)	(0)	(81)

- (注) 1) A型従業員については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の ( ) で再掲している。
  - 2) 増員および減員の各右欄には法人内異動を ( ) で表記している。
  - 3) 「その他」にはグループホーム利用者・在宅パソコン講習生・放課後等デイサービス利用者・定着支援利用者を含む。
  - 4) 在籍者数には非常勤嘱託医を含まない。

#### 表2 法人単位貸借対照表

2021年 9月30日現在

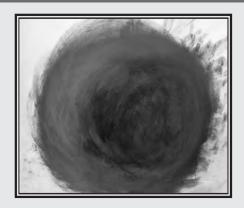
第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

(単位:円)

						(半四	
資	産 の 部			負	債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	3, 913, 769, 836	4, 508, 900, 283	-595, 130, 447		1, 255, 960, 499	1, 759, 068, 027	-503, 107, 528
現金預金	2, 643, 718, 601	2, 665, 911, 435	-22, 192, 834		300, 000, 000	300, 000, 000	
事業未収金	670, 270, 245	1, 384, 631, 527	-714, 361, 282	事業未払金	515, 872, 812	1, 085, 204, 604	-569, 331, 792
未収金	8, 027, 053	9,609,658	-1, 582, 605	その他の未払金	25, 022, 700	27, 055, 437	-2, 032, 737
未収補助金	11, 253, 859	8, 057, 877	3, 195, 982	1年以内返済予定設備資金借入金	12, 978, 000	34, 736, 000	-21, 758, 000
受取手形	63, 629, 595	125, 749, 027	-62, 119, 432	1年以内返済予定リース債務	311, 520		311, 520
貯蔵品	2, 543, 978	2, 532, 759	11, 219		3, 892, 169	8, 411, 507	-4, 519, 338
商品・製品	267, 543, 573	245, 678, 122	21, 865, 451		32, 036, 856	48, 137, 107	-16, 100, 251
仕掛品	20, 297, 124	16,031,532	4, 265, 592		9, 287, 669	37, 338, 419	-28, 050, 750
原材料	20, 462, 354	23, 351, 001	-2, 888, 647		11, 636, 260	10, 464, 044	1, 172, 216
立替金	3, 689, 842	7, 153, 619	-3, 463, 777		51, 142, 611	16, 865, 418	34, 277, 193
前払金	256, 860	9, 130, 000	-8, 873, 140		806, 304	, ,	806, 304
前払費用	17, 974, 329	12, 688, 113	5, 286, 216		134, 167, 994	178, 542, 738	-44, 374, 744
前払費用 (非資金)	848, 408	, 000, 110	848, 408		56, 873	12, 312, 753	-12, 255, 880
短期貸付金	740, 771	740, 771	010, 100	仮受消費税	158, 748, 731	12,012,100	158, 748, 731
仮払金	34, 254, 302	. 10,	34, 254, 302		801, 101, 960	832, 010, 677	-30, 908, 717
徴収不能引当金△	1, 580, 268	2, 365, 158	-784, 890		366, 890, 000	366, 890, 000	00,000,11
仮払消費税	149, 839, 210	2, 000, 100	149, 839, 210		30, 000, 000	30, 000, 000	
固定資産	5, 448, 990, 172	5, 500, 979, 090	-51, 988, 918		3, 790, 160	00,000,000	3, 790, 160
基本財産	3, 290, 041, 659	3, 277, 989, 843	12, 051, 816		388, 648, 294	423, 347, 171	-34, 698, 877
土地	812, 128, 671	812, 128, 671	12,001,010	役員退職慰労引当金	3, 484, 374	3, 484, 374	01,000,011
建物	3, 659, 254, 752	3, 581, 490, 770	77, 763, 982		8, 289, 132	8, 289, 132	
建物減価償却累計額△	1, 181, 341, 764	1, 115, 629, 598	65, 712, 166		2, 057, 062, 459	2, 591, 078, 704	-534, 016, 245
その他の固定資産	2, 158, 948, 513	2, 222, 989, 247	-64, 040, 734				
土地	298, 950, 200	298, 950, 200	,,	基本金	300, 915, 620	300, 915, 620	
建物	749, 820, 915	730, 696, 931	19, 123, 984		300, 915, 620	300, 915, 620	
構築物	151, 777, 081	136, 089, 651		国庫補助金等特別積立金	2, 435, 930, 886	2, 503, 510, 842	-67, 579, 956
機械及び装置	765, 788, 726	861, 921, 826	-96, 133, 100		2, 435, 930, 886	2, 503, 510, 842	-67, 579, 956
車輌運搬具	69, 432, 084	73, 265, 151		その他の積立金	870, 223, 824	950, 223, 824	-80, 000, 000
器具及び備品	332, 582, 614	291, 177, 888	41, 404, 726		64, 500, 000	144, 500, 000	-80, 000, 000
建設仮勘定	002,002,011	4, 666, 346	-4, 666, 346		20, 000, 000	20, 000, 000	00,000,000
建物減価償却累計額△	447, 699, 847	435, 485, 478	12, 214, 369		785, 723, 824	785, 723, 824	
構築物減価償却累計額△	68, 263, 385	64, 342, 325		次期繰越活動増減差額	3, 698, 627, 219	3, 664, 150, 383	34, 476, 836
機械及び装置減価償却累計額△	638, 914, 063	725, 994, 638	-87, 080, 575		3, 698, 627, 219	3, 664, 150, 383	34, 476, 836
車輌運搬具減価償却累計額△	63, 011, 927	65, 084, 243	-2, 072, 316		-45, 523, 164	184, 081, 105	-229, 604, 269
器具及び備品減価償却累計額△	206, 530, 132	193, 623, 644	12, 906, 488		15,020,101	222,002,100	, 001, 200
権利	16, 500	16, 500	12,000,100				
ソフトウェア	50, 688, 370	44, 056, 243	6, 632, 127				
退職給付引当資産	283, 266, 502	306, 962, 286	-23, 695, 784				
その他の積立資産	870, 223, 824	950, 223, 824	-80, 000, 000				
差入保証金	2, 283, 430	2, 323, 430	-40,000				
長期前払費用	5, 706, 119	4, 337, 799	1, 368, 320				
その他の固定資産	3, 504, 842	3, 516, 842	-12, 000				
徴収不能引当金△	673, 340	685, 342	-12, 002		7, 305, 697, 549	7, 418, 800, 669	-113, 103, 120
資産の部合計	9, 362, 760, 008	10, 009, 879, 373	-647, 119, 365		9, 362, 760, 008	10, 009, 879, 373	-647, 119, 365
具圧が即日則	2, 302, 100, 000	10,000,010,010	041, 119, 300	只良久い他見生が即日司	3, 304, 100, 000	10,000,010,010	041, 119, 306

## Artbility ギャラリー47

### $[2020.8.30 \ 1/2]$ 徳岡麻実子さん



皆さまは、徳岡麻実子さんの作品、『2020.8.30 1/2』をご覧いただいて何を感じますか。「渦巻きみたい」「音楽が聴こ えてきそうだ」「なぜタイトルが『2020.8.30 1/2』なんだろう」等々、お感じになられるかと推察されます。

徳岡さんは知的障害のある作家で、腕や肩をスクロールするように動かし、パステルを使用して渦巻きを描きます。あ る時はその渦巻きは桃色に塗りつぶされたり、ある時は渦巻きが4つ描かれたり、またある時は渦巻きが線画のようだっ たりと様々です。パステルの色を決めるのも、描き始めと描き終わりを決めるのも本人の意思です。

アートビリティが障害者アートバンクだった頃、外部のアートディレクターの企画により、徳岡さんの作品がワインラ ベルやポスターに展開された時のキャッチコピーが、『メロディーが聴こえる』『Open Your Mind』。抽象的だが誰もが癒 される作品と称賛されました。

徳岡さんは自分で作品タイトルを決められません。「作品は制作時の徳岡さんそのもの」という意味から、制作年月日 をタイトルにしています。「嬉しいこと、思い通りにいかなくて鬱々としていること、家族に報告したいこと…」作品に はその日その時の徳岡さんが映し出されます。

2022 年のアートビリティカレンダーの表紙に、そして、今回『コロニーとうきょう』創立 70 周年記念号の表紙も敢え て徳岡さん作品を起用させていただきました。それは、今まさに、私たちを取り巻く日本や世界が、社会問題起点の取り 組むべき課題を解決する際に必要なヴィジョン=『循環』を感じられる作品だからです。

森・海・空も、植物・動物・人間も、障害のある人もない人も、世界中が循環しています。停滞しない『廻り』を考え ることは、私たちの未来を考えることにつながると信じ、『2020.8.30 1/2』をご鑑賞いただけると幸甚です。

【作家プロフィール】

1970年生まれ。神奈川県在住。

1990年 「徳岡麻実子個展~ MAMIKO・20才の記念~」開催。

(湘南しんきん ギャラリーくりはま)

1996年 「Open Your Mind」個展開催。(東京レイギャラリー)

1997年 「第9回障害者アートバンク(アートビリティ旧称)大賞」

大賞受賞。

「アートビリティ展~障害者アートの可能性~」出展。

(長野県軽井沢トリックアート美術館)

画集「Open Your Mind」発行。

「画集出版記念展」開催。(東京レイギャラリー)

「第2回ザッツ・アートビリティ展」出展。

(東京都京橋レイギャラリー)

1998年 「徳岡麻実子パステル画展」開催。

(画廊喫茶 レ・トロワ・アヌー)

「徳岡麻実子作品展」開催。(アート村六本木)

「とっておきの美術祭inふなばし」出展。

(船橋市民ギャラリー)

1999年 「エイブル・アート展」出展。(東京都美術館)

「ゆうあい美術展」出展。(島根県立美術館)

2000年 「ほっとinふなばし芸術祭」出展。(船橋市民ギャラリー) 2003年 「サンフランシスコふなばし現代美術国際交流展'03

~ Japanese Rock in California Roll ~ J

(Creative Growthギャラリー/

Creativity Explored of SFギャラリー《アメリカ合

衆国》)

■アートビリティ…障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるた めに始めた事業です。約200名の作家による約6,000点の作品が揃ったアートライブラリーとなり、年間約400点の作品が使用されています。

#### ご客附のお礼

(2021年6月~2021年11月 総額 8.455千円)

下記の皆様より、当法人に対してご寄附を賜りました。ご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

2021 年 7月 株式会社トライフ 様

2021年 7月 三菱商事株式会社 様

2021 年 8 月 NPO 法人こことステップ 様

2021年 8月 諏訪 康雄 様

2021年11月 大和証券株式会社練馬支店 様

2021年11月 全国本田労働組合連合会 様

2021年11月 加藤 源祐 様

2021年11月 小池 誠 様

2021 年 9月 伊藤忠エネクス株式会社 様 2021 年 11 月 渡 秀二 様 渡 恵美子 様

◎文中の写真はご本人の了解を得て掲載しています。

中本

### 東京コロニーのホームペーシ



東京コロニー メインページ https://www.tocolo.or.jp/



デジタル メディアセンター https://www.tocolo.or.jp/dmc/



トーコロ情報処理センター職能開発室 https://www.tocolo.or.jp/syokunou/



トーコロ情報処理センター事業部 https://www.tocolo.or.jp/joho/



中野区仲町就労支援事業所 https://colony.gr.jp/nakatyoushienn/



コロニー東村山 https://www.colony.gr.jp/colonyhigashimurayama/



アートビリティ https://www.artbility.com/index.html



トーコロ青葉ワークセンター https://www.colony.gr.jp/aoba/



トーコロ生活支援センター https://www.tocolo.or.jp/seikatu/index.html



コロニーもみじやま支援センター https://colony.gr.jp/momijiyama/



コロニー印刷 https://www.colony.gr.jp/



東京都大田福祉工場 https://www.ootafukushikojo.org/



東京都葛飾福祉工場 https://www.fireman21.net/



グループホーム https://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html



コロニー中野 https://colony.gr.jp/colonynakano/